

投資家様向け決算説明会を開催いたしました

当社は、2022年1月19日(水)に投資家の皆様向けとして、2022年5月期第2四半期決算説明会をオンラインにて開催いたしました。

〈2022年1月19日(水) 16:00~17:00〉

1. 2022年5月期第2四半期業績サマリについてのご説明
(経営企画室 経理グループ 課長 喜屋武 直哉)
2. 2022年5月期第2四半期決算詳細及び2022年5月期通期連結業績予想についてのご説明
(経営企画室 経理グループ 課長 喜屋武 直哉)
3. 当期の振り返りと事業の今後についてのご説明
(代表取締役社長 木地 伸雄)
4. 質疑応答

ご説明内容に関しましては、以下に添付しております資料をご参照下さい。

※質疑応答内容は、後日改めて掲載いたします。

以上

お問い合わせ先： 神奈川県横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 10F
株式会社インターアクション 経営企画室 IR担当 宛
TEL 045-263-9220 メール：ir@inter-action.co.jp

**株式会社インターアクション 2022年5月期（第30期）
第2四半期 決算説明会**

2022年1月19日（水）

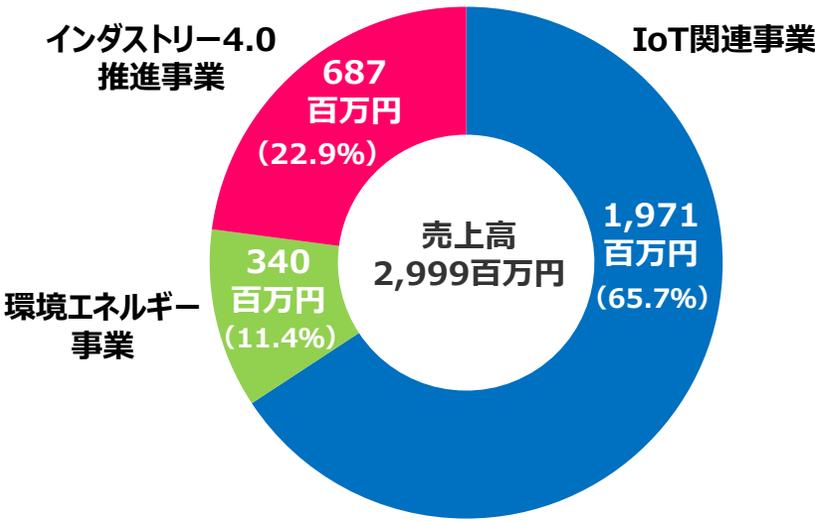


- 1. 第2四半期業績サマリ**
- 2. 2022年5月期 第2四半期 決算詳細**
 - ① IoT関連事業セグメント
 - ② 環境エネルギー事業セグメント
 - ③ インダストリー4.0推進事業セグメント
 - ④ 連結貸借対照表・連結損益計算書
 - ⑤ 連結キャッシュ・フロー計算書
 - ⑥ 受注高・売上高・受注残高
 - ⑦ 2022年5月期 通期連結業績予想
- 3. 当期の振り返りと事業の今後**

appendix - 会社紹介 -

1. 第2四半期業績サマリ

1. 第2四半期業績サマリ



(百万円)	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比 増減率 (%)
売上高	3,379	2,999	△11.2
営業利益	877	594	△32.3
経常利益	882	611	△30.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	586	386	△34.1
1株当たり四半期純利益	53.50円	35.19円	-

- ▶ IoT関連事業セグメントの減収減益に伴い、連結業績は前年同期比で減収減益となった。
- ▶ IoT関連事業セグメントの業績に関しては、市場環境の悪化ではなく、顧客側における設備投資の波や工場の閉鎖による影響と予想。現在、国内、海外の顧客ともに当社製品に関する商談が活発化しているため、今後も顧客側の設備投資は堅調に推移すると予測。

2. 2022年5月期 第2四半期 決算詳細

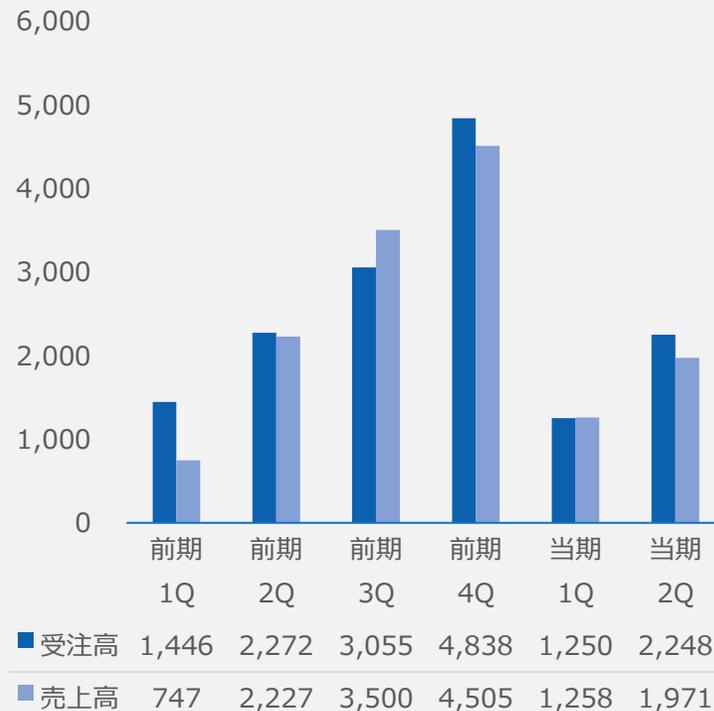
① IoT関連事業セグメント

- 国内顧客向け製品の販売は堅調であったものの、海外顧客向け製品の販売が前年同期を下回ったため、セグメント全体としては減収減益となった。
- 海外顧客向け製品の売上高減少については、前年同期に顧客側の大規模な設備投資があったことや、顧客側での設備投資タイミングの後ろ倒しがあったと想定。
- 当社製品に関する商談が活発化しており、下半期～来期にかけて国内および海外顧客側での大規模な設備投資が予定されていると予測。

受注高・売上高・受注残高推移(四半期毎)



受注高・売上高推移 (累計)



【外部環境の主な変化】

- | | |
|---|---|
| (1) 市場環境
(+) 引き続きイメージセンサの需要は強いと予測 | 😊 |
| (2) 社会情勢
(±) 米中貿易摩擦
→前年同期と比較して不透明感は緩和されたと認識
(-) 新型コロナウイルス感染症
→海外顧客において、工場閉鎖によりイメージセンサへの設備投資タイミングが後ろ倒しとなった可能性 | 😐 |
| (3) 顧客動向
(+) 国内顧客の設備投資意欲の復調
(+) 国内外顧客との当社製品に関する商談が活発化 | 😊 |

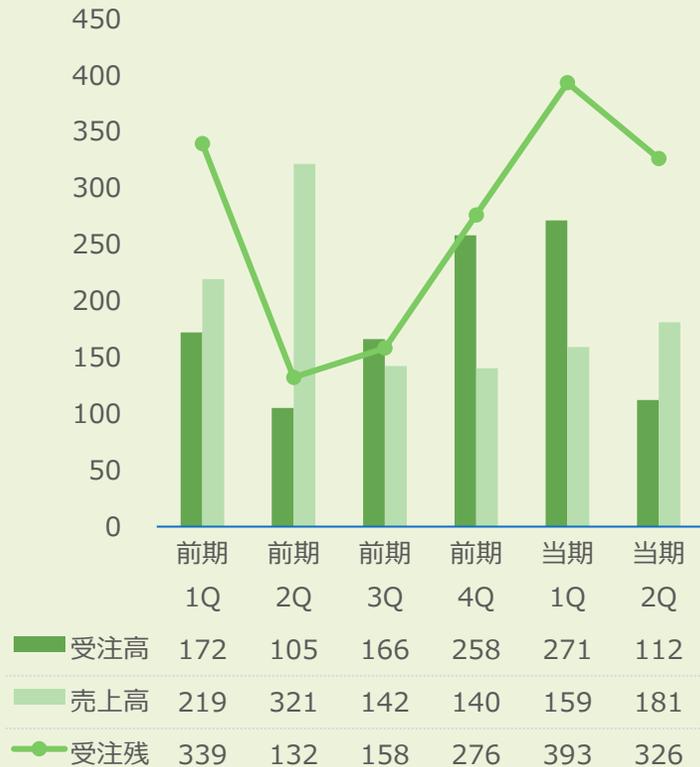
【内部環境の主な変化】

- | | |
|---|---|
| (1) 研究開発
(±) 海外向け瞳モジュール
→当社より製品サンプルの積極的な提案を行い、顧客側での検証が続く | 😊 |
|---|---|

② 環境エネルギー事業セグメント

- 新型コロナウイルス感染症の影響により前期における本体装置の受注が少なかったため、当期の売上高は減少傾向。
- メンテナンス案件の売上高は前年同期と同水準で推移した。
- 停滞していた本体装置の受注が入りはじめ、受注残が増加。しかし、世界的な部材不足等の影響により、案件によっては納期の遅延が見込まれる。

受注高・売上高・受注残高推移(四半期毎)



単位：百万円

受注高・売上高推移(累計)



単位：百万円

【外部環境の主な変化】

(1) 社会情勢

- (-) 新型コロナウイルス感染症の影響
→前期の本体装置の受注が少なく、売上高減少
- (-) 世界的な部材不足
→受注案件の納期遅延の可能性あり



(2) 顧客動向

- (+) 本体装置の発注増加
→前期停滞していた設備投資が徐々に再開



【内部環境の主な変化】

(1) 新製品開発

- (+) AEセンサーを利用した故障予測システムの開発の推進



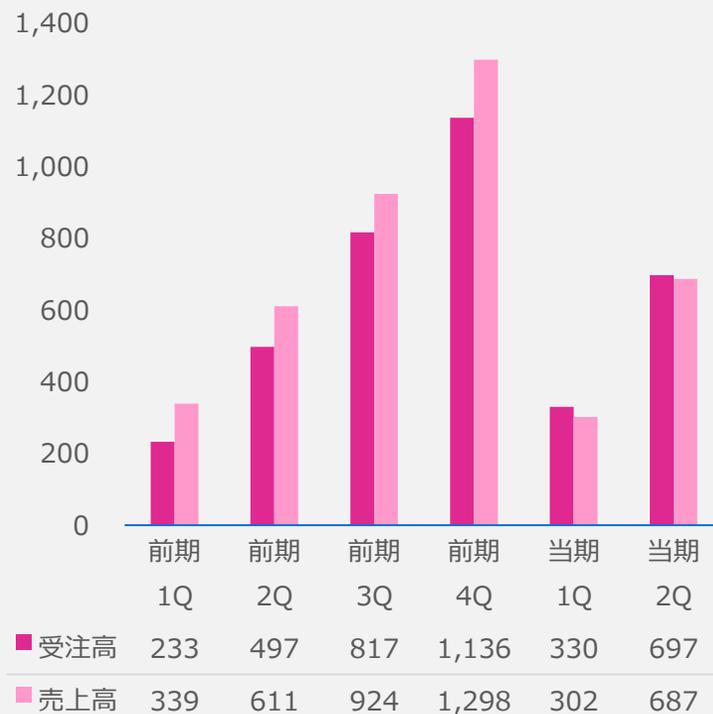
③ インダストリー4.0推進事業セグメント

- 精密除振装置：収益性の高い製品について国内外顧客からの引き合いは増加傾向にあるが、当期の売上高は低調に推移。
- 歯車試験機：歯車製造業界の市況が復調傾向となり、国内外顧客における設備投資意欲が好調に推移。前年同期の売上高を上回った。
- FA画像処理装置：納入した製品は順調に稼働。自動車メーカー等からの引き合いも増加。

受注高・売上高・受注残高推移(四半期毎)



受注高・売上高推移(累計)



【外部環境の主な変化】

(1) 市場環境

(+) 中国の経済状況
→中国企業に向けた工作機械の需要が高まり、歯車製造業界へも波及



(2) 社会情勢

(±) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響
→海外営業の制限



【内部環境の主な変化】

(1) 新規事業・研究開発

(+) FA画像処理装置の拡販
→納入先でも順調に稼働。引き続き引き合いあり。



(+) 精密除振装置の新製品開発
→量産機の試作・評価段階。予定通り進捗。

④ 連結貸借対照表・連結損益計算書

連結貸借対照表

(百万円)	2021年	2022年		2021年	2022年
	5月期	第2四半期		5月期	第2四半期
資産			負債		
資産 計	11,564	11,300	負債 計	2,526	2,051
流動資産	10,146	9,996	流動負債	1,774	1,376
固定資産	1,418	1,304	固定負債	752	675
有形固定資産	668	636			
無形固定資産	272	241	純資産		
投資その他の資産	477	426	純資産 計	9,038	9,248
			株主資本		
			資本金	1,760	1,760
			資本剰余金	3,352	3,352
			利益剰余金	4,826	4,987
			自己株式	△892	△ 842
			その他の包括利益累計額	△9	△9
資産 合計	<u>11,564</u>	<u>11,300</u>	負債・純資産合計	<u>11,564</u>	<u>11,300</u>

連結損益計算書

(百万円)	前第2四半期	当第2四半期
実績		
売上高	3,379	2,999
売上原価	1,682	1,609
売上総利益	1,697	1,389
販売費及び一般管理費(注)	819	795
営業利益	877	594
経常利益	882	611
特別利益	—	0
特別損失	7	5
税金等調整前四半期純利益	874	606
法人税、住民税及び事業税	279	172
法人税等調整額	8	47
法人税等合計	288	220
四半期純利益	586	386
親会社株主に帰属する四半期純利益	586	386

(注)販売費及び一般管理費のうち主な費用

研究開発費	26	56
のれん償却額	24	24

⑤ 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動による キャッシュ・フロー

186 百万円

(百万円)	前第2四半期	当第2四半期
税金等調整前四半期純利益	874	606
売上債権の増減額 (△は増加)	392	20
棚卸資産の増減額 (△は増加)	111	△167
その他の増減額	124	182
小計	1,503	642
法人税等の支払額等	△118	△456
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,385	186

財務活動による キャッシュ・フロー

△424 百万円

(百万円)	前第2四半期	当第2四半期
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40	△20
長期借入による収入	293	-
長期借入金の返済による支出	△129	△83
自己株式の取得による支出	-	△135
配当金の支払額	△202	△225
その他の増減額	9	38
財務活動によるキャッシュ・フロー	10	△424

投資活動による キャッシュ・フロー

△54 百万円

(百万円)	前第2四半期	当第2四半期
有形固定資産の取得による支出	△49	△56
無形固定資産の取得による支出	△7	△1
その他の収入・支出	35	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22	△54

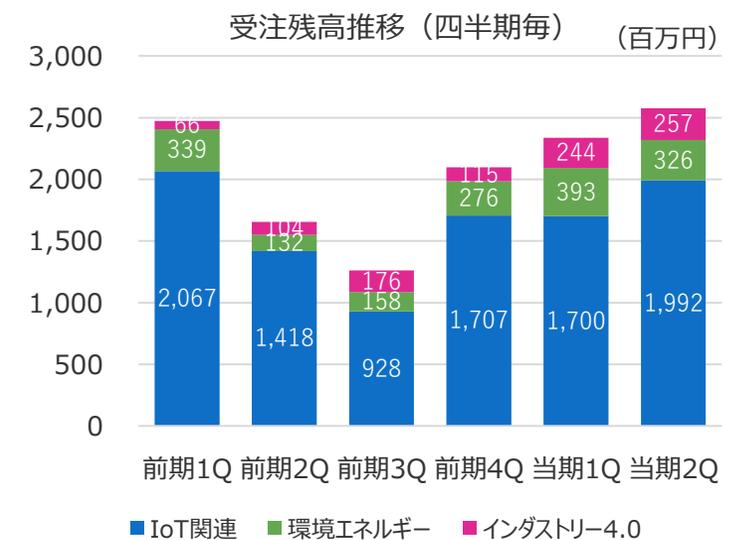
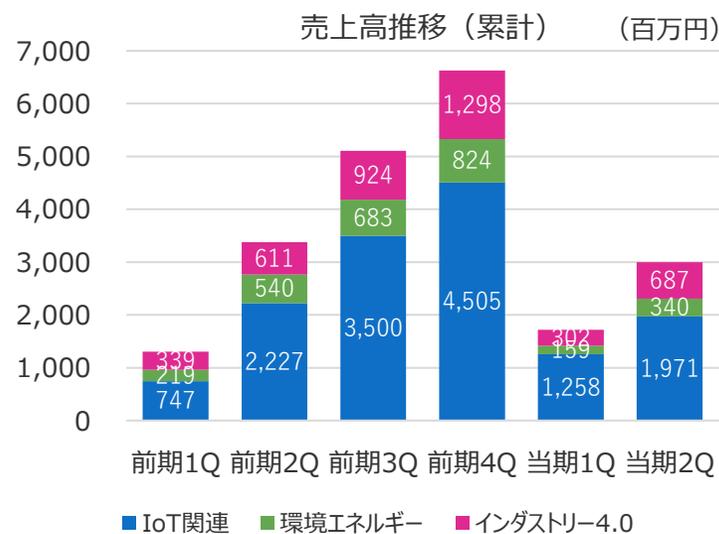
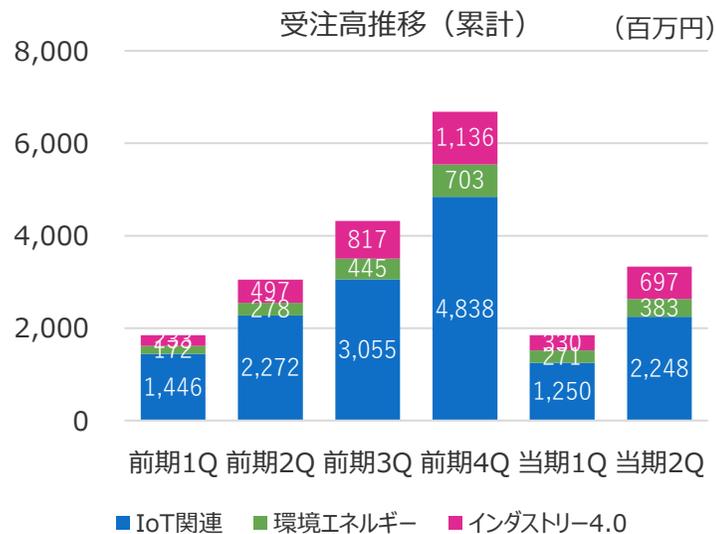
現金及び現金同等物の 四半期末残高

6,926 百万円

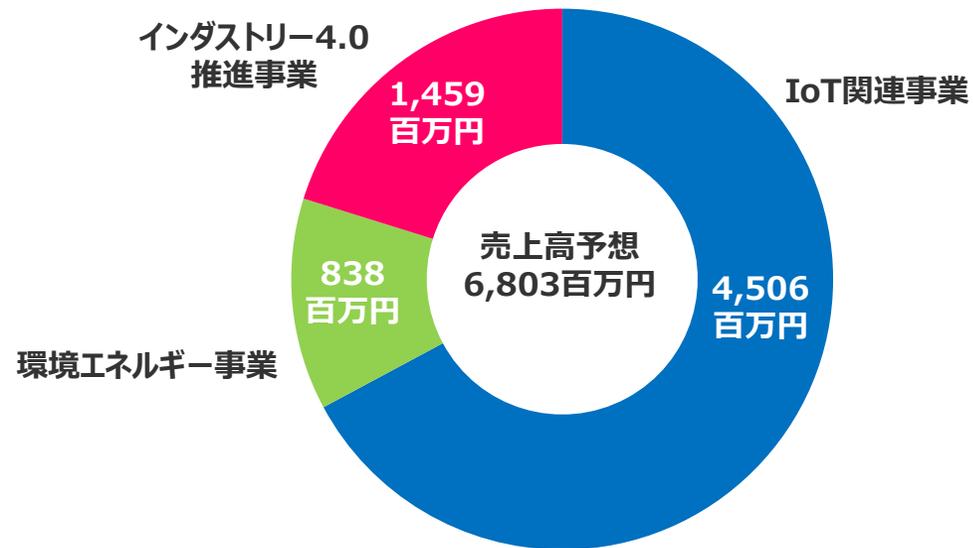
(百万円)	前第2四半期	当第2四半期
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	8
現金及び現金同等物の増減額	1,374	△284
現金及び現金同等物の期首残高	4,873	7,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,247	6,926

⑥ 受注高・売上高・受注残高

事業セグメント (百万円)	受注高		売上高		受注残高	
	金額	前年同期比 増減率	金額	前年同期比 増減率	金額	前年同期比 増減率
IoT関連事業	2,248	△1.0%	1,971	△11.5%	1,992	40.5%
環境エネルギー事業	383	37.7%	340	△37.1%	326	145.9%
インダストリー4.0推進事業	697	40.1%	687	12.4%	257	146.9%
合計	3,329	9.2%	2,999	△11.2%	2,575	55.6%



⑦ 事業の今後：2022年5月期 通期連結業績予想



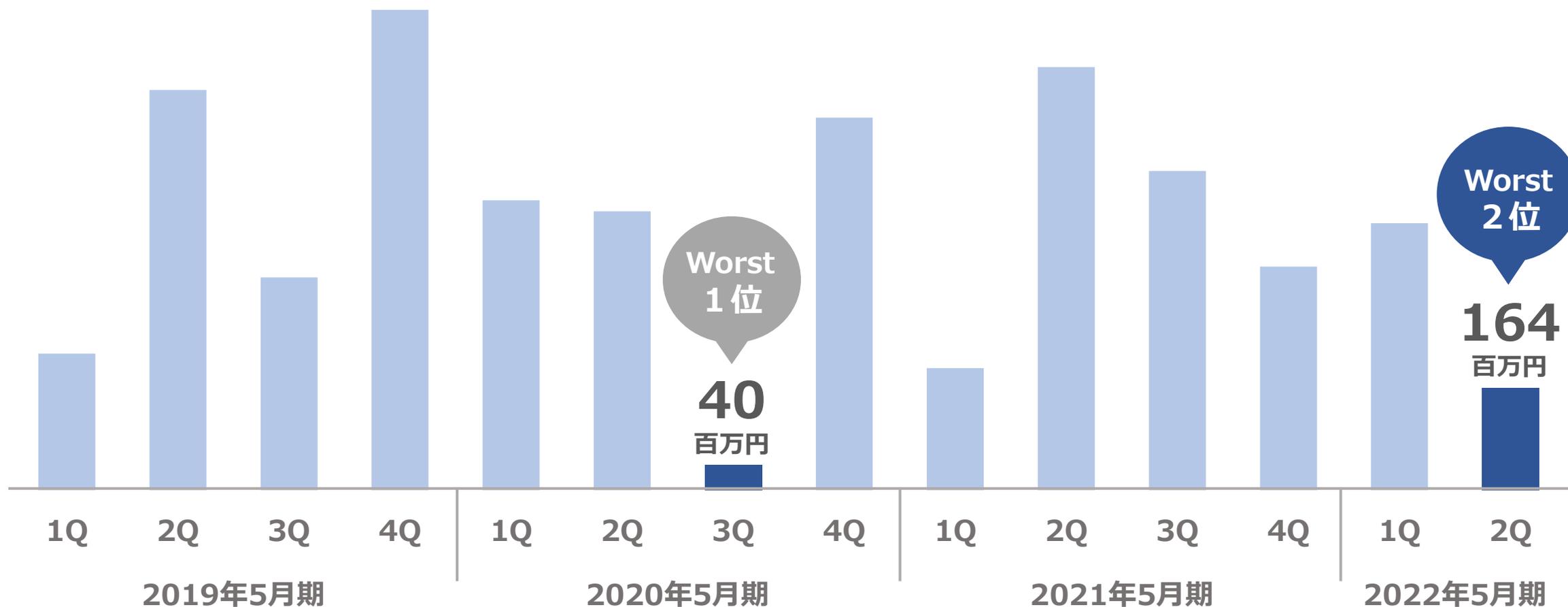
(百万円)	2021年 5月期実績	2022年 5月期予想	前期比 増減率
売上高	6,627	6,803	2.6%
営業利益	1,751	1,871	6.8%
経常利益	1,748	1,806	3.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,159	1,189	2.6%
1株当たり当期純利益	105.61円	108.14円	—

3. 当期の振り返りと事業の今後

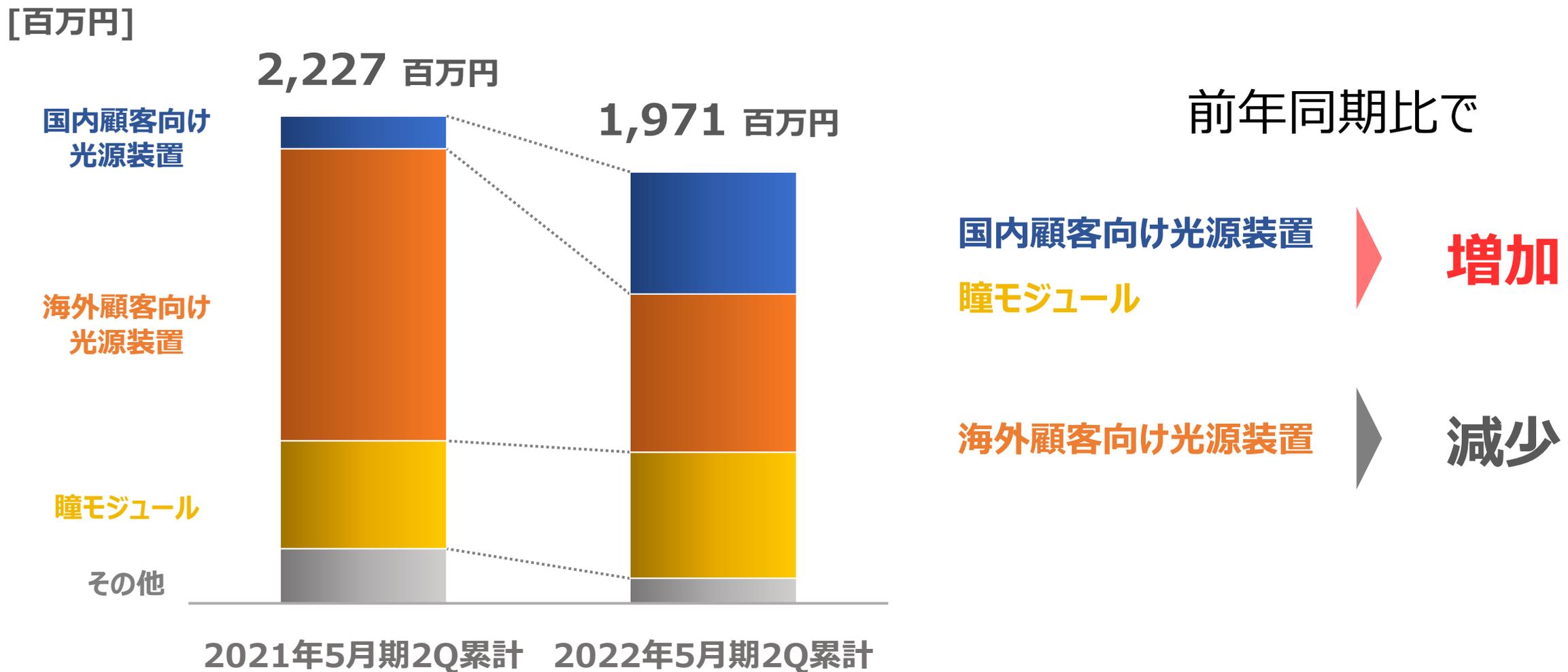


連結営業利益（四半期別）の推移

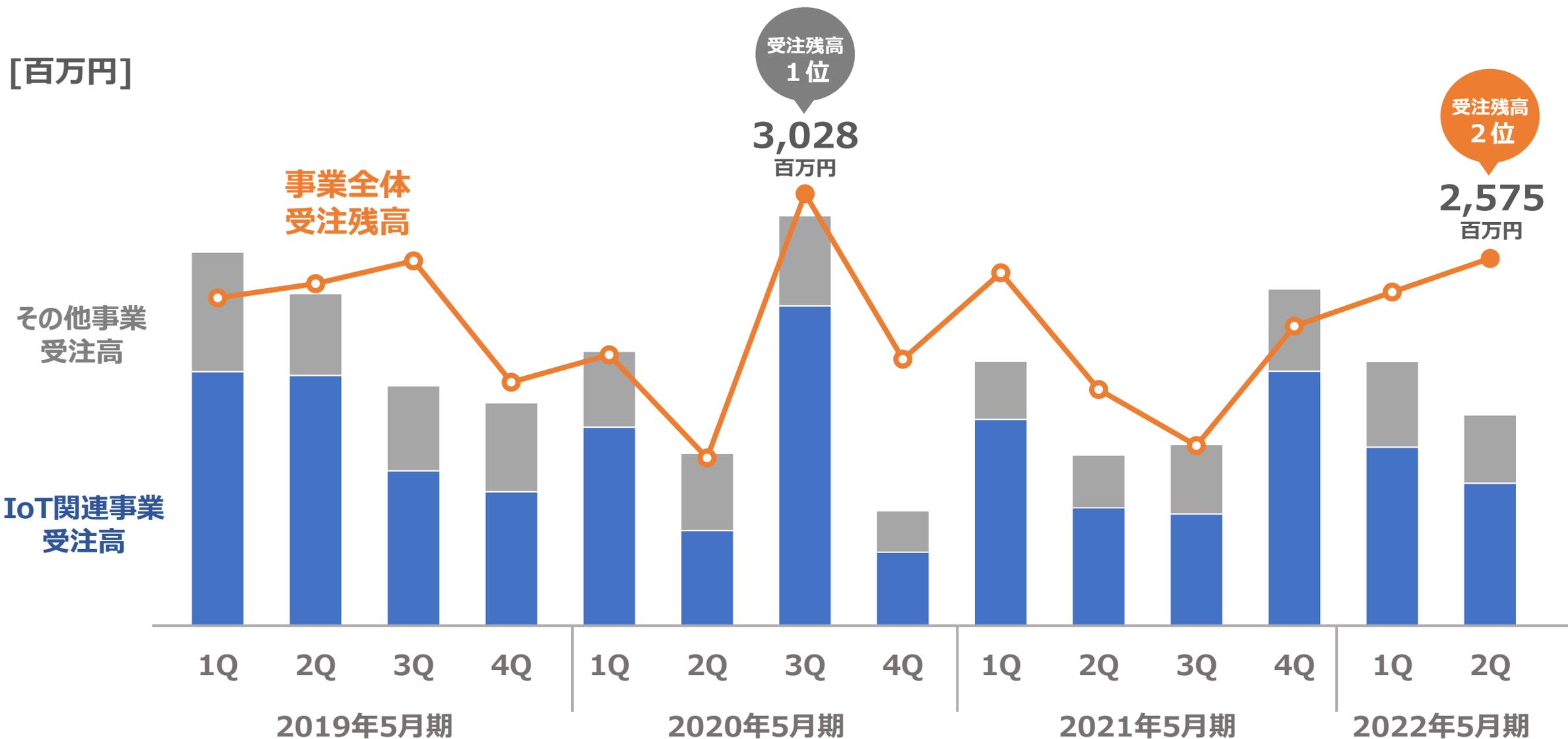
[百万円]



IoT関連事業 売上高割合（累計）



受注高及び受注残高の推移（四半期別）









下半期から来期に向けて

国内顧客と海外顧客の大型な設備投資計画

顧客のデバイス生産数量の増加

子会社で複数開発プロジェクトをリリース

InterAction's Mission

**光学視点のモノづくりで
センシング市場の柱となる**

To be The Hidden Champion
King of King makers

Mission達成に向けた戦略

T2強化戦略

- 短納期
- 開発・提案スピードUP
- 生産性向上

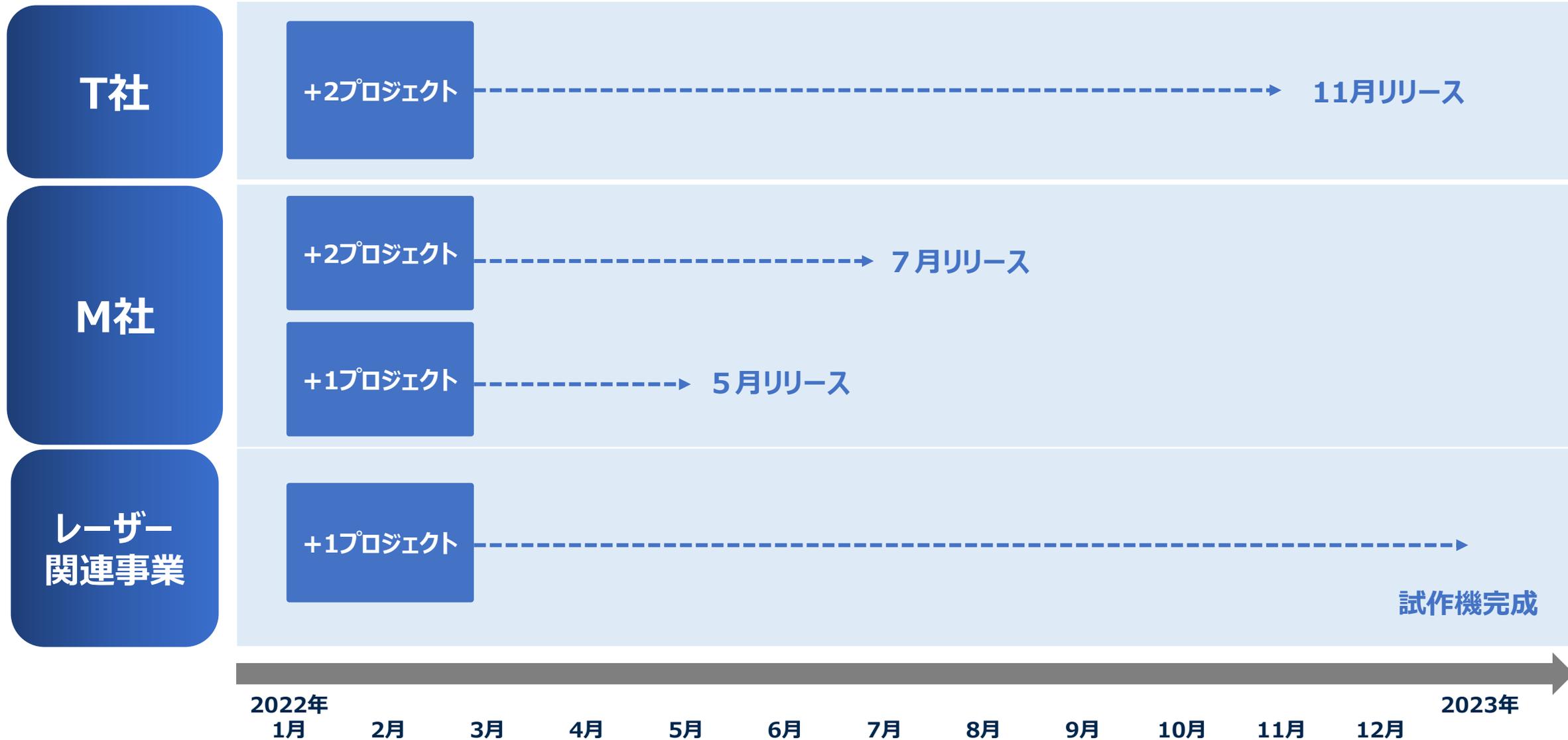
販路拡大戦略

- 営業Marketingの強化
- T2開発による
製品ポートフォリオの拡充
- 生産性向上

生産性 向上計画

- DX化
- 人材育成
- M&A

複数開発リリース





自己株式の取得

3
億円

取得期間：2022年1月13日～2022年1月31日まで

プライム市場への移行



PRIME TOKYO

appendix - 会社紹介 -

商号	株式会社インターアクション INTER ACTION Corporation	上場市場	東京証券取引所 市場第一部
設立	1992年6月25日	証券コード	7725
代表者	代表取締役社長 木地 伸雄	事業年度	自6月1日 至 5月31日
資本金	1,760百万円	URL	https://www.inter-action.co.jp/
従業員	138名（2021年5月末時点 グループ全体）	グループ会社	株式会社エア・ガシズ・テクノス 明立精機株式会社 株式会社東京テクニカル 西安朝陽光伏科技有限公司 陝西明立精密设备有限公司 MEIRITZ KOREA CO.,LTD Taiwan Tokyo Technical Instruments Corp. TOKYO TECHNICAL INSTRUMENTS (SHANGHAI) CO.,LTD 株式会社ラステック
本社所在地	神奈川県横浜市金沢区福浦1-1 横浜金沢ハイテクセンター14階		
事業所	横浜市中区・熊本県合志市		

重要指標

Equity Spread
ROE

配当方針

総還元性向30%

M&A方針

成長分野・今後成長を見込める分野であること
培ってきた技術や事業のノウハウが、事業展開に活用できる分野であること
5年間の想定キャッシュ・フローをWACCで割り引いたNPVがプラスになること

メール配信サービス

インターアクショングループに関する様々な情報をメールでお届けします

当社HP「メール配信サービス」画面

https://www.inter-action.co.jp/ir/ir_mail/

ご登録いただきました情報は、IRメール配信サービスのみを使用します。

個人情報の取り扱いにつきましては、当社ホームページに記載しております「個人情報保護方針」をご参照下さい

<https://www.inter-action.co.jp/privacy/>

お問い合わせ

株式会社インターアクション

経営企画室経営企画グループ IR担当

神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル10階

TEL : 045-263-9220 (代表)

<https://www.inter-action.co.jp/inquiry/>

HPお問い合わせ画面よりお問い合わせ下さい





注意事項

本資料に記載されている情報には、将来の業績等に関する見通しが含まれております。これらの見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づいて当社グループにより判断されたものであり、様々な潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の事業領域を取り巻く経済状況、市場の動向等の影響を受けるものであり、記載された見通しと大きく異なる結果となることをご承知置き下さい。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。

事前の承諾なしに本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止します。

